

2019 年度

特別聴講学生募集要項

大学コンソーシアム関門

北九州市立大学
下関市立大学

九州共立大学
西日本工業大学

九州国際大学

大学コンソーシアム関門



特別聴講学生 募集案内

C o n t e n t s

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

2019年度開講科目

- ・ コーディネート科目「関門学」
- ・ 大学提供科目「現代の教養」

出願について

- ・ 出願資格
- ・ 出願方法と出願期間
- ・ 出願する前に確認しておきたいこと

履修許可について

- ・ 履修許可
- ・ 履修が許可になったら

科目の受講について

- ・ 講義会場までの通学について
- ・ 受講に際しての注意
- ・ 講義の欠席について
- ・ 受講に関する問い合わせについて
- ・ 休講、補講、教室変更などの通知

成績評価について

- ・ 評価について
- ・ 各科目の評価方法

問い合わせ先一覧

講義会場へのアクセス

講義概要

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

「大学コンソーシアム関門」は、北九州、下関両市の高等教育機関が相互に連携・協力することにより、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献することを目的としています。

また、大学間で単位互換協定を締結したことで、学生は在学する大学以外の講義を「特別聴講学生」として受講することができます。修得した単位は所属する大学で認定されます。

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば受講することが可能です。出願料及び受講料は無料です（ただし、実習・演習の場合は実費を徴収することがあります）。受講を希望する学生は、所属大学の定める方法により所属大学へ出願してください。

2019年度開講科目

コーディネート科目【関門学】 2科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
関門の自然環境とそのエネルギー	1年以上	九州共立大学	8月19日(月)～8月23日(金) 10:40～16:10	A
北九州・下関地域の魅力ある企業を、座学と企業見学で学ぶ	1～3年	北九州市立大学	8月19日(月)～8月24日(土) のうち指定する4日間	B

大学提供科目【現代の教養】 4科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
地域課題研究（安全・安心な都市イメージの情報発信戦略について）	1年以上	九州国際大学	6月～9月 ボランティア活動 及び 講義 講義は、8月26日(月)～8月30日(金) のうち指定する4日間	C
課題解決演習～デザイン思考による課題解決～	1年以上	西日本工業大学	8月4日(日)～8月7日(水) 9:00～16:10	D
経営入門-企業を経営するってどういうことですか？-	2年以上	北九州市立大学	8月16日(金)～9月5日(木) のうち指定する8日間	E
自然地理学	1年以上	下関市立大学	9月10日(火)～9月13日(金) 10:40～18:00	F

講義会場：

A＝九州共立大学 学思館（北九州市八幡西区）

B＝北九州市立大学 サテライトキャンパス（北九州市小倉北区）、各企業

C＝九州国際大学 地域連携センター サテライトキャンパス（北九州市八幡西区）

D＝西日本工業大学 地域連携センター（北九州市小倉北区）

E＝北九州市立大学 ひびきのキャンパス（北九州市若松区ひびきの）、各企業

F＝下関市立大学（下関市）

出願について

●出願資格

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば出願することが可能です。単位互換協定参加大学に所属する交換学生も、所属大学の許可があれば本制度を利用して出願を行うことができます。

●出願方法と出願期間

出願は2019年4月に行います。履修を希望する学生は、所属大学によって出願方法と出願期間が異なりますので、詳細は、所属大学担当窓口で確認の上、手続きを行ってください。

●出願する前に確認しておきたいこと

★出願できる科目及び修得できる単位数は、所属大学において認められた単位数以内とします。詳細は所属大学担当窓口で確認してください。

★評価の確定が年度末となるため、2019年9月卒業予定者は出願することはできません。

★科目によって、履修できる学年の指定が異なるので注意してください。

★各自の修得単位や必修科目の修得状況を確認し、進級要件や卒業要件が不足しないように履修計画を立てた上で出願してください（特に、卒業年次生は注意が必要です）。

★講義会場までの通学時間を考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。

履修許可について

●履修許可

出願希望については科目提供大学が確認の上、結果については、所属大学を通じて、5月頃に出願者に通知します。なお、施設等の関係上、受け入れ人数には限りがあります。出願希望者が多数の場合、履修が許可されないこともありますのでご了承ください。

●履修が許可されたら

履修が許可された学生は、科目提供大学における「特別聴講学生」となります。履修許可後、所属大学によっては、履修登録等の手続きが必要となりますので、所属大学担当窓口で確認してください。

科目の受講について

●講義会場までの通学について

通学については公共の交通機関を利用してください。

●受講に際しての注意

受講の際には、必ず所属大学の「学生証」を携帯してください。

●講義の欠席について

出欠をとる講義もあります。その場合は、講義担当教員の指示に従ってください。止むを得ず講義を欠席する場合、事前に欠席を届け出る必要はありません。

ただし、出席回数が評価に反映される科目もあります。

●受講に関する問い合わせについて

受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談ください。

●休講、補講、教室変更などの通知

休講などのお知らせは、原則として、科目提供大学が所属大学へ通知します。受講学生は、所属大学の掲示板等で確認してください。

成績評価について

●評価について

履修した授業科目は、授業担当教員が成績評価（素点）を行った後、所属大学の成績評価方法に基づき、単位が付与されます。

●各科目の評価方法

各科目授業担当教員の成績評価方法は、以下のとおりです。

科 目 名	科 目 提 供 大 学	成 績 評 価 方 法
関門の自然環境とそのエネルギー	九州共立大学	授業態度及び理解度 40%、課題レポート等 60%
北九州・下関地域の魅力ある企業を、座学と企業見学で学ぶ	北九州市立大学	授業（質疑応答・小レポート）80%、最終レポート 20%
地域課題研究（安全・安心な都市イメージの情報発信戦略について）	九州国際大学	課題 20%、講義での発表 20%、成果物の内容 30%、ボランティアの参加と主体的な取り組み 30%
課題解決演習 ～デザイン思考による課題解決～	西日本工業大学	発表・行動等による総合評価
経営入門-企業を運営するってどういうことですか？-	北九州市立大学	経営者－学生トーク 30%、企業見学 20%、企業滞在取材 20%、学習成果発表会 20%、総合学習レポート 10%
自然地理学	下関市立大学	平常点 20%、テスト 80%

※試験やレポート提出は科目提供大学の規則によって行います。試験欠席による追試験は実施されません。万が一、所属大学の試験等と日程が重複した場合は、必ず事前に所属大学担当窓口にご相談し、指示を受けてください（原則として、所属大学の試験が優先となります）。

問い合わせ先一覧

【大学コンソーシアム関門事務局、単位互換協定参加大学】

大学名等	事務担当窓口	担当窓口連絡先
大学コンソーシアム関門事務局	北九州市立大学	093-964-4106 conso@kitakyu-u.ac.jp
北九州市立大学	学務第一課	093-964-4106 conso@kitakyu-u.ac.jp
九州共立大学	教務課	093-693-3073 kyoumu@kyukyo-u.ac.jp
九州国際大学	学務事務室	093-671-9010 gakumu@office.kiu.ac.jp
下関市立大学	学務グループ教務班	083-252-0289 kyomu@shimonoseki-cu.ac.jp
西日本工業大学	デザイン学部事務室	093-563-2221 kyoumu@nishitech.ac.jp

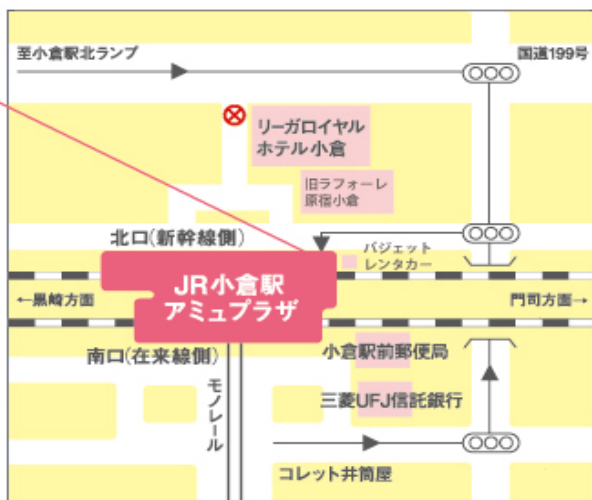
※受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談してください。

講義会場へのアクセス

【九州共立大学】 JR 折尾駅よりバス 7 分、徒歩 15 分
〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘 1-8



【北九州市立大学サテライトキャンパス】 JR 小倉駅 AMU プラザ 7F
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 1 丁目 1-1



【西日本工業大学 地域連携センター】 JR 西小倉駅より徒歩 7 分
 〒803-0811 北九州市小倉北区大門 1-5-1 TEL : 093-563-3221



【九州国際大学地域連携センター】 JR 黒崎駅より徒歩 1 分
 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 2 階 TEL : 093-631-2203



【北九州市立大学ひびきのキャンパス】 JR 折尾駅 北九州市営バス折尾駅西口バス停より 20 分
 学研都市ひびきの下車 徒歩 1 分
 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1

ひびきのキャンパス アクセスマップ



【下関市立大学】 JR 下関駅よりバス 25 分、山の田または大学町 2 丁目バス停下車、徒歩 3 分
JR 幡生駅より徒歩 20 分

〒751-8510 山口県下関市大学町 2 丁目 1 番 1 号

TEL : 083-252-0289



講義概要

科 目 名	関門の自然環境とそのエネルギー
担 当 者 名	成 富 勝、小 島 治 幸

履 修 条 件	1 年以上	単 位 数	2 単位
期 間	8 月 1 9 日（月） ～ 8 月 2 3 日（金） 10:40～16:10 （2 時限～4 時限）		
講 義 会 場	九州共立大学 学思館 2 階 1 2 2 教室		
科目提供大学	九州共立大学		

授 業 の ね ら い ・ テー マ	21 世紀は人類にとって環境・エネルギー問題が大きなテーマです。身近な関門海峡を取り巻く地域の自然環境やその特徴を知り、自然保護・自然災害・エネルギー利用法を学ぶことで、様々な環境に対する知識を深めるとともに生きる力を養うことができます。講義全体のキーワードは、自然環境・自然保護・自然災害・自然エネルギーです。		
テ キ ス ト	各担当教員による資料配付。		
参 考 文 献	必要に応じて、担当教員が授業中に紹介。		
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル	1 回	関門地域の自然環境と古環境 ～故きを温ねて新しきを知る	【成富 勝】
	2 回	関門地域の音環境 ～鳥啼いて山更に幽かなり	【成富 勝】
	3 回	関門地域の環境保全 ～真に豊かな、心地よい社会を築こう	【成富 勝】
	4 回	生物多様性と希少野生生物 ～人間も自然の一部だ	【成富 勝】
	5 回	関門地域の里地里山と多様な生きもの	【成富 勝】
	6 回	ビオトープ自由ヶ丘における体験学習	【成富 勝】
	7 回	自然災害の歴史(世界と日本) ～備えあれば憂いなし	【成富 勝】
	8 回	自然災害の概要と被害状況	【成富 勝】
	9 回	関門地域の地形と自然災害(地震、土砂崩れ等)	【成富 勝】
	10 回	関門海峡とその周辺の潮流 ～潮流はどのように起こり、どのくらい速いのだろう	【小島 治幸】
	11 回	関門海峡とその周辺の海岸 ～いろいろな海岸とその自然特性	【小島 治幸】
	12 回	関門海峡とその周辺の干潟海岸 ～貴重な干潟海岸とその自然環境	【小島 治幸】
	13 回	海に存在する波 ～いろいろな波の中で怖い波は何だろう	【小島 治幸】
	14 回	関門地域の自然災害 ～津波から身を守るためには	【小島 治幸】
	15 回	関門地域の自然エネルギー ～波力発電、潮流発電、洋上風力発電	【小島 治幸】
授 業 に 対 す る 準 備 事 項	・配布した資料をよく見ておくこと。 ・新聞やテレビで知った地域や環境の情報を思い出して授業に臨めば興味が湧きます。		
成績評価の方法	授業態度及び理解度：40%、課題レポート等の提出物：60%		

科 目 名	北九州・下関地域の魅力ある企業を、座学と企業見学で学ぶ
担 当 者 名	見 館 好 隆（北九州市立大学地域戦略研究所教授） 内 田 晃（北九州市立大学地域戦略研究所教授）

履 修 条 件	1～3年	単 位 数	2単位
期 間	8月19日（月）～8月24日（土）のうち指定する4日間 ※後日、指定します。		
講 義 会 場	北九州市立大学サテライトキャンパス、各企業		
科目提供大学	北九州市立大学（COC+事業）		

授 業 の ね ら い ・テーマ	【座学2日間】北九州・下関地域にある様々な業種の企業関係者を講師に招き話を伺います。自社の強み、独創性、将来展望をはじめ、本地域で創業するに至った経緯、自社や業界を取り巻く環境、地域社会との関わり等について、業種横断的に幅広く知り、本地域の企業や産業に対する理解と関心を深めていくことができます。 【工場見学2日間】北九州市や下関市（近隣市町村含む）の各施設および、日本を代表するものづくり企業の工場を見学しながら、現場の専門家から事業や仕事内容はもちろん、特に環境など社会貢献部分についての講義を受講することで、SDGsを軸に、日本における将来への持続的な企業の在り方を理解します。				
テ キ ス ト	特になし。施設ごとに資料が配布されます。				
参 考 文 献	特にありませんが、講義時に質問ができるように、事前に企業団体の web サイトを読み込んであらかじめ質問を用意してください。なお、工場見学先は決まり次第掲示板にて告知します。 【座学:2018 年度実績】安川電機、なかやしき、第一交通産業、リーガロイヤルホテル小倉、不動産中央情報センター、サンキュドラッグ、公益財団法人健和会、岡野バルブ製造、スターフライヤー、ゼンリン、三井ハイテック、福岡銀行 【工場見学:2018 年度実績】シャボン玉石けん、タカギ、やまぐち県酪乳業、フジミツ				
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル		コマ数	概要	内容	場所
	1 日 目	0.5	ガイダンス	座学の目的、評価方法など	サテライトキャンパス
		3.0	座学①～⑥	企業より(未定)	サテライトキャンパス
	2 日 目	0.5	ガイダンス	企業見学の目的、評価方法など	バスの中
		1.5	見学と講義①	現場でしか理解できない、その企業団体の魅力、そして、SDGs の取り組みを理解する。	企業・工場・施設①
		1.5	見学と講義②		企業・工場・施設②
		0.5	振り返り	2日目の振り返り	バスの中
	3 日 目	1.5	見学と講義③	現場でしか理解できない、その企業団体の魅力、そして、SDGs の取り組みを理解する。	企業・工場・施設③
		1.5	見学と講義④		企業・工場・施設④
		0.5	振り返り	3日目の振り返り	バスの中
	4 日 目	3.0	座学⑦～⑫	企業より(未定)	サテライトキャンパス
		1.0	振り返り 総括	座学、企業見学を含めた全日程の振り返りを統合するためのグループワーク、最終レポート作成	サテライトキャンパス
	※2019年度の登壇企業、工場見学先は調整中のため、日程も含めて後日掲示板でお知らせします。参考までに 2018 年度の実績を参考文献欄に記載しています。				

授業に対する 準備事項	・最終レポートは全行程に参加しなければ書けません。よって全行程参加が原則です。 ・服装はカジュアルでも構いませんが、受入先企業団体のみなさんは工作中です。よって、短パンやビーチサンダル、穴の開いたジーパンなど、礼節を欠いた服装での参加はできません。また、見学先によっては別途服装の指定があります。 ・授業前日までに、学研災保険のAコース(賠償責任保険)に加入していただきます。 ・バスでの移動がありますので、バスが苦手な人は履修しないでください。 ・講義時に質問ができるかが評価のポイントの一つです。予習してきてください。
成績評価の方法	授業 80% (講義時の質疑応答と終了後の小レポート)、最終レポート 20%

科 目 名	地域課題研究（安全・安心な都市イメージの情報発信戦略について）
担 当 者 名	藤 野 博 行 （法学部助教）

履 修 条 件	1 年以上	単 位 数	2 単位
期 間	6 月～9 月 講義 及び ボランティア活動 講義は、8 月 2 6 日（月）～8 月 3 0 日（金）のうち指定する 4 日間 ※後日、指定します。		
講 義 会 場	九州国際大学 地域連携センター サテライトキャンパス（コムシティ黒崎 2 階）		
科 目 提 供 大 学	九州国際大学		

授 業 の ね ら い ・ テ マ	【ねらい】 1 北九州市の現状を把握・分析・課題発見をしたうえで、その解決策についての提案を行うことを通して、課題解決力を涵養するとともに、地域への愛着を持ち、地域のリーダーを担う人材を育成する。 2 大学・学年・性別などの異なるメンバーとさまざまな経験を積むことにより、主体性と協働力を涵養する。 【概要】 北九州市に関する様々な知識を学び、市民のボランティア活動などに参加したうえで、北九州市のイメージアップのための情報を市内外に発信するための原案を作成する。		
テ キ ス ト	指定しない。		
参 考 文 献	必要あれば呈示する。		
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル	1 回	基本的に土曜日または夏季休業中に集中講義形式で実施する。そのほか、時期は未定であるがボランティア活動も実施する。	
	2 回		
	3 回		
	4 回		6 月 ガイダンス（趣旨説明、仲間づくり、事前課題配布）
	5 回		7 月 事前課題の回収と解説（1 コマ）
	6 回		8 月（具体的な日程はガイダンスの時に周知する）
	7 回		1 日目（2 コマ）都市イメージの重要性と、向上に向けた取り組みを学ぶ。
	8 回		2 日目（2 コマ）安心・安全なまち北九州を発信する前提知識として、治安の現状を学ぶ。
	9 回		3 日目（3 コマ）安全に関する市民の評価や要望を知り、解決策の原案を作成する①
	10 回		4 日目（3 コマ）安全に関する市民の評価や要望を知り、解決策の原案を作成する②
	11 回		
	12 回		
	13 回		そのほか、地域の課題解決に向けたボランティア活動（4 コマ程度。時期は未定）
	14 回		への参加を予定している。
	15 回		
授 業 に 対 す る 準 備 事 項	事前学習（90 分） ・北九州市の治安に関する現状や課題について、書籍や雑誌、インターネットなどの情報をくまなく当たり、自分なりに考えをまとめておく。 ・履修ガイダンスや各種事前指導に出席する。 ・講義日の予定は確実に空けておく。 ・体調を崩さないよう自己管理をする。 事後学習（90 分）		
成 績 評 価 の 方 法	課題（20 点）、講義での発表（20 点）、成果物の内容（30 点）、ボランティアへの参加と、グループワークなどに主体的な取り組む姿勢（30 点）によって、総合的に評価する。		

科 目 名	課題解決演習～デザイン思考による課題解決～
担 当 者 名	梶 谷 克 彦（西日本工業大学デザイン学部准教授）

履 修 条 件	1 年以上	単 位 数	2 単位
期 間	8 月 4 日（日） ～ 8 月 7 日（水） 9:00～16:10 （1 時限～4 時限）		
講 義 会 場	西日本工業大学 地域連携センター 2 階		
科 目 提 供 大 学	西日本工業大学		

授 業 の ね ら い ・ テー マ	複雑な要因が絡み合う課題解決のスキルを、デザイン思考を通して学ぶ短期集中型の演習。 デザイン思考の実践的スキルの養成を通じて、洞察力、課題解決能力、ディスカッション力の習得を目指すことに重点を置く。 課題解決手法の基礎的な知識習得と演習を行う PBL 形式の演習。 成果目標として、北九州のまちづくりに関するプラン制作を行う。 なお、当演習は、グラフィックデザインや映像制作などの「デザインスキル」は問わない。
テ キ ス ト	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。
参 考 文 献	特になし。
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル	1 回 ビジョンの共有化（チームビルディング）
	2 回 基礎講座 1 問題解決の基礎講座
	3 回 基礎演習 1 簡易的な問題解決演習
	4 回 基礎講座 2 デザイン思考のステップに関する基礎講座
	5 回 基礎演習 2 簡易的な問題解決演習
	6 回 課題レクチャー
	7 回 フィールドワーク準備
	8 回 フィールドワーク 1 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。
	9 回 フィールドワーク 2 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。
	10 回 フィールドワークのまとめと洞察 分析と洞察
	11 回 アイデアプランディスカッション
	12 回 試作品制作・テスト 1
	13 回 試作品制作・テスト 2
	14 回 プレゼンテーション（チームごとのプレゼンテーション）
	15 回 プレゼンテーションと振り返り
授 業 に 対 す る 準 備 事 項	動きやすい服装で参加すること。
成 績 評 価 の 方 法	発表・行動等を総合的に評価する。

科 目 名	経営入門 -企業を経営するってどういうことですか？-
担 当 者 名	辻 井 洋行（北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室教授）

履 修 条 件	2年次以上	単 位 数	2単位
期 間	「授業内容またはスケジュール」欄に記載している8日間 1限 9:00～10:30、2限 10:40～12:10、3限 13:00～14:30、4限 14:40～16:10、5限 16:20～17:50		
講 義 会 場	北九州市立大学ひびきのキャンパス ほか		
科目提供大学	北九州市立大学		

授業のねらい・テーマ	北九州革新的価値創造研究会（カチケン； http://www.ksrp.or.jp/katiken/ ）のメンバー経営者との直接のやり取り、主体的な調査研究と発表を通じて、「企業を経営するってどういうことですか？」という問いを探究すること。さらに、ひとつの企業の経営を預かることの意味、やり甲斐について、企業滞在調査を通じて学びとり、自身の言葉で説明できるようになること。実際の経営者との関わりの中で、北九州地域にある企業の魅力を発見していく。		
テ キ ス ト	配布資料による。		
参 考 文 献	配布資料による。		
授業内容またはスケジュール	1 （1日目；8/16・金 3限）授業への取り組み方、経営者とトーク準備、企業情報の読み方 2 （2日目；8/19・月 3限）経営者-学生トーク [1] A社、B社 3 （2日目；8/19・月 4限）経営者-学生トーク [2] C社、D社 4 （3日目；8/20・火 3限）経営者-学生トーク [3] E社、F社、企業見学準備 5 （4日目；8/22・木 2限）企業見学 [1] 第1班（A社）、第2班（D社） 6 （4日目；8/22・木 3限）企業見学 [2] 第1班（B社）、第2班（E社） 7 （4日目；8/22・木 4限）企業見学 [3] 第1班（C社）、第2班（F社） 8 （5日目；8/23・金 2限）企業見学振り返りと企業滞在取材準備 9 （6日目；8/26・30 1限）企業滞在取材 [1] 取材；始業・朝礼など 10 （6日目；8/26・30 2限）企業滞在取材 [2] 取材；工場・ラボなど 11 （6日目；8/26・30 3限）企業滞在取材 [3] 取材；事務所など 12 （6日目；8/26・30 4限）企業滞在取材 [4] 取材；社長室など 13 （6日目；8/26・30 5限）企業滞在取材 [5] 取材；終業・終礼など 14 （7日目；9/2・月 3限）企業滞在取材振り返りと発表会準備 15 （8日目；9/5・木 5限）発表会 ※1 授業にご協力頂く北九州革新的価値創造研究会について、上の URL からメンバー経営者を確認しておくこと。 ※2 地域企業において、経営者の哲学や経営理念がどのように具体化されているのかを主体的に調べ体感する企業滞在取材。（8/26・30のうちいずれか1日に出席）出社の日取りは受入企業との調整のうえ決定する。 ※3 企業滞在取材の結果を踏まえた学生による学習成果プレゼンテーションを北九州イノベーションギャラリー（八幡東区東田 2-2-11）に行う予定である。		
授業に対する準備事項	履修に際し、学研賠・学研災への加入が必須になる。企業滞在取材には、各自で移動するための交通費（各自支出）が必要になる。		
成績評価の方法	(a)経営者-学生トーク 30%（参加10%、Q&A10%、振り返りレポート10%） (b)企業見学 20%（参加10%、振り返りレポート10%） (c)企業滞在取材 20%（参加10%、振り返りレポート10%） (d)学習成果発表会 20%（基礎点10点、Q&A10%） (e)総合学習レポート（個人）10% ※遅刻・欠席した場合は、1コマ当たり1/15の成績が総得点から差し引かれる。		

科 目 名	自然地理学
担 当 者 名	宗 建 郎

履 修 条 件	1 年以上	単 位 数	2 単位
期 間	9 月 1 0 日（火） ～ 9 月 1 3 日（金） 10:40～18:00（2 時限～5 時限） （2 限 10:40～12:10／3 限 13:10～14:40／4 限 14:50～16:20／5 限 16:30～18:00）		
講 義 会 場	下関市立大学		
科目提供大学	下関市立大学		

授 業 の ね ら い ・ テー マ	【概要】 この授業では自然地理学の基礎についてお話しします。地図・大地の成り立ち・気候の基礎・地形の基礎の四つのテーマで授業を行います。 地表面上に現れてくる自然地理学的な諸事象の原理を中心にお話しします。 【到達目標】 ①地球の姿と地図との関係について理解し自分の言葉で説明できる。 ②地形形成の基礎原理を理解し、自分の言葉で説明できる。 ③気候分布の基礎原理を理解し、自分の言葉で説明できる。
テ キ ス ト	教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配付します。
参 考 文 献	特になし。
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル	1 回 イントロダクション：自然地理学について考える 2 回 地球を描く：地球をとらえる・地図の成り立ち 3 回 地形図を読む：地形図の利用法 4 回 地形図と現実空間：地形図を用いた周辺地域の観察 5 回 大地の形成 1：大陸の分布と大陸移動説 6 回 大地の形成 2：大陸移動と大地形 7 回 大地の形成 3：日本の大地形 8 回 大地の形成 4：中国・四国の大地形 9 回 気候と気象 1：エネルギーと空気の流れ 10 回 気候と気象 2：風の基礎 11 回 気候と気象 3：雨の基礎 12 回 日本の地形と気候：地形と気候 13 回 小地形 1：内力による地形形成 1：火山 1 14 回 小地形 2：内力による地形形成 1：火山 2 15 回 小地形 3：内力による地形形成 2：断層と褶曲
授 業 に 対 す る 準 備 事 項	事前学習としては自分の身の回りの地形・気候を観察し、また天気予報の情報などに気を配っておくこと。 事後学習としては、その日の授業の中で興味関心を持った事項についてまとめ、自ら調べてみること。
成 績 評 価 の 方 法	平常点 20%（授業に積極的に参加し、発問に答えること。） テスト 80%（設問に対して自分の言葉で説明できること。）

大学コンソーシアム関門